

リサイクルをもっと簡単に

ペリっとはがしてリサイクル！

環境に配慮した『ミラピール®容器』¹の供給を開始

～明治大学“学食”にて実証実験に参画、ケミカルリサイクルの実装めざす～

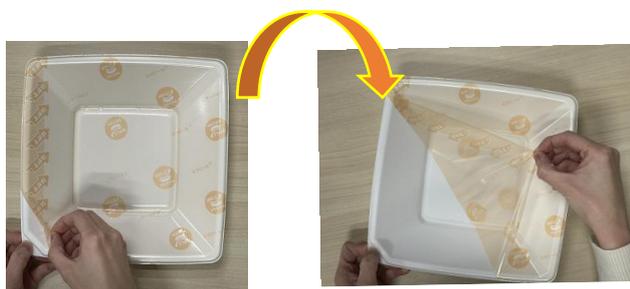
株式会社 JSP パッケージング（代表取締役社長 飯島浩一）は、親会社で素材供給元の株式会社 JSP（東証プライム上場 証券コード：7942）及びグループ会社で成型加工を受け持つ株式会社 KP と共同開発した『ミラピール®容器』を、今般、伊藤忠プラスチックス株式会社（代表取締役社長 林 英範）と共に株式会社コロワイド MD（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長 磯野 健雄）に新規供給することとなりました。これを受けて、2026年1月8日より、同社傘下で施設給食業を手掛ける株式会社ハートフルダイニング（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：栢森洋平）が受託運営する学生食堂、「明治大学和泉キャンパス食堂館」において、『ミラピール®容器』を使った「ケミカルリサイクル」の社会実装をめざす実証試験に参画いたします。

このたび、当社が供給するのはポリスチレン樹脂製の『ミラピール®容器』です。ミラピール®容器は発泡素材を基材としていることから軽量、省資源化が図られており、使用後は容器内側の表面フィルムをはがすことで、簡便かつ綺麗な状態での分別が可能となり、後工程でリサイクルがしやすい状態となるため、ヴァージンプラスチック使用量の削減による環境保全に期待が持てます。また、フィルムをはがせば食品残渣を容易に取り除けることから、これまで厨房内の洗い場において什器等の洗浄に要していた手間を省くことにも期待でき、結果として、水光熱費の抑制、人手不足の緩和にもつながります。



〈明治大学和泉キャンパス〉

ペリっとはがしてリサイクル

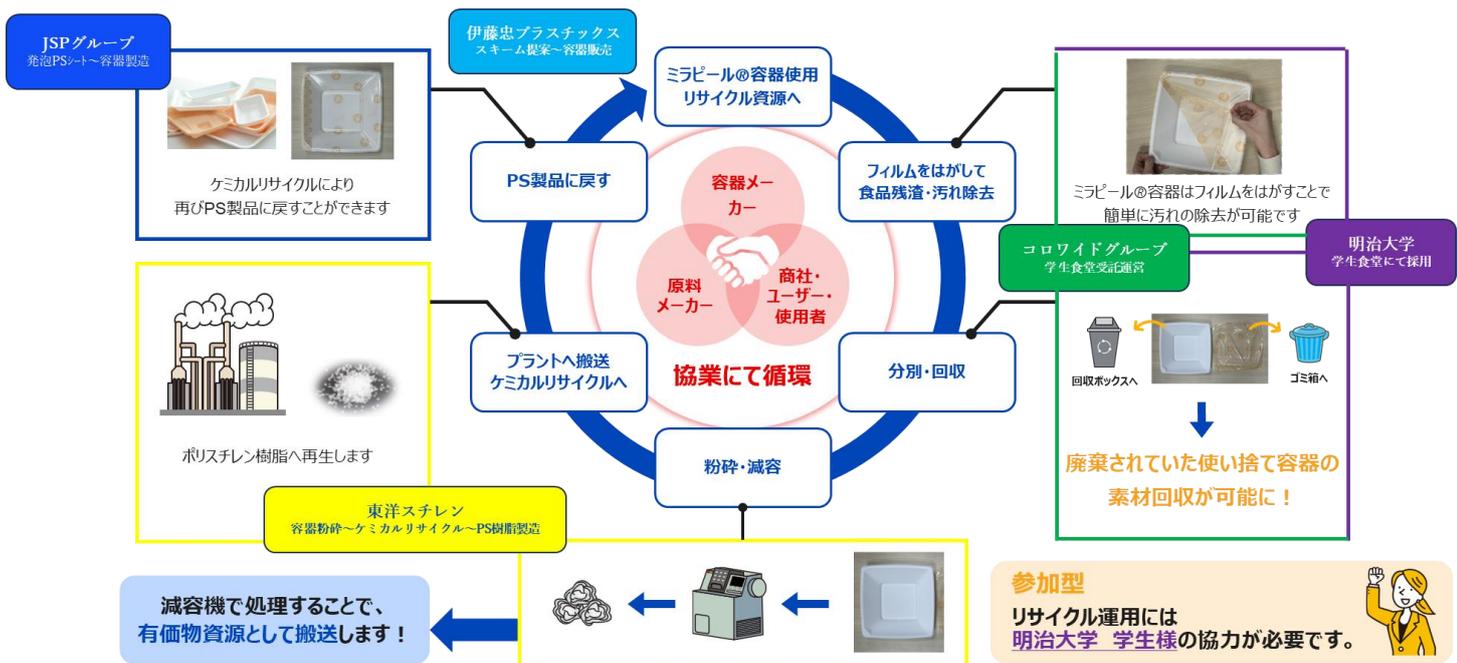


【ケミカルリサイクル循環モデル】

ケミカルリサイクル循環モデルの社会実装を目指す実証実験は、JSPグループの他、学校法人明治大学、コロワイドグループ、伊藤忠プラスチック株式会社、東洋スチレン株式会社など、業種を超えた事業者連携により推進されます。現在、明治大学和泉キャンパス食堂館では、一部メニューのみにワンウェイプラスチック容器による食事の提供が行われていますが、本実証実験の開始以降はワンウェイ容器の一部を『ミラピール®容器』に置き換えることで、環境保全、省資源、省人化等に関する各種効果の検証を進めてまいります。

ケミカルリサイクルとは

プラスチックごみを化学的に分解し、化学原料の状態に戻して再度プラスチックを合成する手法です。ヴァージン材と同等の物性で、食品容器にも使用できます。低炭素かつ水平リサイクル可能なシステムです。



〈ワンウェイ容器を再利用可能な『ミラピール®容器』に〉

『ミラピール®容器』は、汚れにより廃棄されていた従来容器とは違い、洗って乾かす事が出来ないイベントなどのクローズな市場でも、綺麗な状態での分別・リサイクルが可能なため、省資源、CO2 低減の効果に期待が持てます。本実証実験は、JSP グループが環境分野での社会貢献を一層強化するための重要な一歩です。私たちは、環境素材の普及を通じて、社会全体の持続可能性向上に貢献する使命を担っています。企業活動の中心に“未来世代への責任”を据え、より良い社会の実現に本気で取り組みます。地域やパートナーとも連携し、環境価値を共有・拡大する取り組みを継続して推進します。JSP グループはこれからも、社会に寄り添い環境価値を提供し続ける持続可能性推進企業として貢献してまいります。

【『ミラピール®容器』の使用方法】

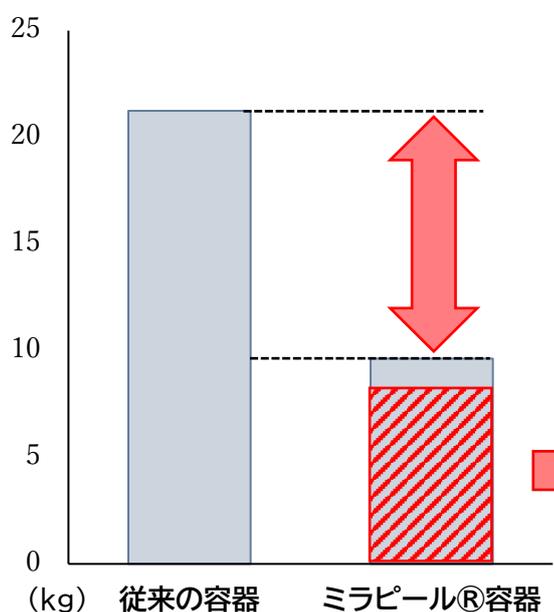


(ご参考)

【環境効果の一例(プラスチック削減量)】

今回ご使用頂く『ミラピール®容器』は従来容器比でプラスチック使用量を 55%削減、
更に約 90%のリサイクルを推進中。(※株式会社 JSP 調べ)

〈新旧プラスチック容器のプラ削減量比較 (容器 1000 枚換算)〉



発泡素材のミラピール®容器使用で
これだけの効果が!

プラ削減量:11.6 kg

約 **55%**削減

さらに

約 **90%**はリサイクルへ

ⁱ 『ミラピール®容器』商品概要 <https://www.jsp-p.co.jp/environment/mirapeel.html>